

# 幡多希望の家

◆◆ No.3 ◆◆ 冬号 ◆◆

医療型障害児入所施設  
療養介護事業  
幡多希望の家

TEL (0880) 66-2212 FAX (0880) 66-2215  
HP: <http://www.gallery.ne.jp/~hatakibo/index.html>  
Mail: [hataki01@mb.gallery.ne.jp](mailto:hataki01@mb.gallery.ne.jp)  
〈発行所〉〒788-0782 高知県宿毛市平田町中山867番地  
〈発行日〉2017年1月25日



生まれつきの病のための障害であれ、生まれてからの病や事故のための障害であれ、その人達の生活の中にあるゆつくりとした小さくても確かな変化を、日々の生活を援助する介護者たちがそれに気づき、ともに育てて喜びを分かち合える社会が実現できてこそ、高齢者が自力で食事が出来なくなっても、自力で排泄が出来なくなっても、そのことをご本人も社会もそのまま受け入れて、でもその中

生まれつきの病のための障害であれ、生まれてからの病や事故のための障害であれ、その人達の生活の中にあるゆつくりとした小さくても確かな変化を、日々の生活を援助する介護者たちがそれに気づき、ともに育てて喜びを分かち合える社会が実現できてこそ、高齢者が自力で食事が出来なくなっても、自力で排泄が出来なくなっても、そのことをご本人も社会もそのまま受け入れて、でもその中

あけましておめでとございます。昨年5月に施設長として赴任して初めての新年を迎えました。その新年の初仕事で、さくらんぼが主催した前田直八さんの成人式での挨拶でした。平成8年に出生し、いくつもの病と闘ってきた直八さんが成人の日を迎えられたことは直八さんを育てて来られた、ご両親やご家族にとっては喜びもひとしおであろうと思われま。また式に出席いただいた直八さん、ご家族を支えてこられた教育や医療福祉の関係者の皆様とその喜びも分かち合うことが出来たのは、私にとっても大きな喜びでした。

日々の変化を前向きに捉え、ともに喜べる社会が実現できるのではないかと考えています。いかに健康な人でも、その終末期には、長短はあれ、移動も食事も排泄も自力ではできなくなる時期があります。その時期を介護者とともに喜び意義あるものに出るかどうかは、直八さんの様な重度の障害を持った人達が輝いて生活が出来ているかに掛かっています。一時間以上掛けて自宅から希望の家に通って来るのは大変だと思いますが、一人ではありません。これからもリハビリを継続して、少しでも出来ることを増やしていけるように、そしてまた社会の人達にそれを見てもらえるように頑張っていきたいと思います。あなた達が輝けるように私たちはいつでも応援します。

## 施設長便り

第3号

20周年を迎えるにあたって  
この仕事に就き、早や20年。いろいろなことがありながらも何とか今に至ります。当初は土佐希望の家先輩方から教えて頂きながら、夢中で日々を過ごしていたことを思い出します。経験も知識もない自分であるのか？と、何度も考えましたが、利用者の方々と一緒にスタートした仲間達に助けをもらいながら、少しずつ理解し、援助も形になり今まで続けることができた事に感謝の気持ちでいっぱいです。

これからは幡多希望の家の職員としての責務を意識して全うできるように頑張りたいと思います。

生活支援科主任 秋本

## 20周年を振り返って

在宅支援 統括主任 柿本

# 20周年記念コーナー

## 祝 成人

直八さん、達也さん  
おめでとございます。



もう一人の中村達也さんは、四十市の成人式に参加され、お友達との久しぶりの再会を楽しまれたようです。



今年も幡多希望の家で成人式を行うことができました。新成人の方はさくらんぼ利用者のお二人で、前田直八さんが参加されました。凛々しいスーツ姿の直八さんを見て、職員一同感動を覚えました。

## 家祭告知

### 第19回 幡多希望の家祭

平成29年5月21日(第3日曜日)開催予定

※詳細は随時お知らせいたします。

## ちょっとひとこと

先日、バスで遠出した時の事。たまたま乗車した利用者の方のご実家方面へ向かう途中、この信号を右へ曲がればご実家、左へ曲がれば外出先…。家に帰れると思ったのか、表情は明るく、目をキラキラさせていましたが、無情にもバスは左へ…。その時の残念そうな顔は職員も胸が詰まる思いでしたが、外出先にお父さんお母さんが会いに来てくださり大喜び!! 両親に甘えて楽しい時間を過ごされました。

## 給食紹介



◆ニュー◆  
・散らし寿司 ・おせち ・苺  
(+そうめんの清汁)



施設長 山本 洋

宿毛市にも今年2回目の雪が降りました。

# のぞみ病棟(入所)

12月18日、一足先にクリスマス会を開催しました。利用者の方々にクリスマスのお楽しみを味わってもらいたいと、ツリーや様々な飾りつけを行いました。

最初の出し物は、事務所と学校合同の聖歌と美しい音色のトーンチャイムです。『きよしこの夜』の演奏に、皆さんが聴き入っていました。最後は『あわてんぼうのサンタクロース』を賑やかに歌いました。



次は、病棟職員の出し物です。生活支援科長率いる5人の新人職員が様々なコスチュームで踊る『パーフェクトヒューマン』。爆笑の渦に包まれ、皆さん楽しそうでした。

出し物の後はお待ちかね、栄養科スタッフ力作のクリスマスケーキの登場です。次々に運ばれる見事なケーキに会場の皆さんから大歓声が上がります。ナイフが入っていくのを惜しみつつ、利用者の方々が美味しく食されました。

クリスマス会のお手伝いをしてくださった中村特別支援学校の先生方や職員のみなさんお疲れさまでした。皆様のご協力のおかげで無事に終えることができました。

生活支援員 松岡



# さくらんぼ(通所)

さくらんぼでは、今年も12月23日(金)に毎年恒例の『出張サンタ』を実施しました。職員は、サンタ・トナカイ等の衣装を着て、利用者の方々のご自宅を訪問させて頂きました。職員は各々が悩みながら選んだクリスマスプレゼントに不安を抱えていましたが、利用者・保護者の方々が喜ばれる姿を見てホッとしました。利用者・保護者の方々に、素敵なサプライズクリスマスになったのではないのでしょうか。来年も素敵な笑顔が見られるよう出張サンタを続けていければと思います。

出張サンタも終わり、さくらんぼは年末年始の休みに入りました。新年を迎え1月4日(水)より開園。長い休みでしたが、利用者の方々の元気な姿を見ることができ、職員一同元気をもらいました。さくらんぼでは、書初めをしたり、延光寺に初詣に行きました。延光寺では、お賽銭を投げ祈願され、おみくじを引いた後鐘を鳴らしたり…。しっかりと新年の雰囲気を感じることができたのではないのでしょうか。



これから寒さが増すと思いますが、よりいっそう元気なさくらんぼで頑張りますので、今年も一年よろしくお願いたします。

生活支援員 田辺



# 外出してきました!

◆ここは奥四万十のレストラン『星羅四万十』。どんな美味しいランチだったかはヒミツだよ。



1泊旅行



◆宿毛市運動公園で開催された第一回 障害者陸上競技大会では、谷吉さんがスロームで自己ベストを更新されました。

おめでとう!!



◆管理補助職員が育てたコスモスが、みなさんの目の前でこんなに可愛らしく咲き誇っています。



◆裏庭の畑で作った立派なさつまいも。もうサイコー!!



◆大月のコーラルフルーツでミカン狩り。「せ、背中がつる〜」



◆突然の冷たい雨に見舞われたお餅つき。寒さもノロの心配もなんのその、オジサンたちがハッスルハッスル!! ※ 感染症対策は万全で行いました。



◆幡多希望の家の目と鼻の先にあるアリーナで行われた『外へとびだせ運動会』に参加しました。この競技は「ジャンケンポン」です。

# 新年会



◆写真は、着ぐるみを着た補助職員が『恋ダンス』を披露してくれたひとコマです。

今年で6回目になりますが、施設内外の障害者雇用関係者や有志が集い交流し、7名の補助職員の日頃のがんばりを労って、職場とはまた違った一面をお互いに知ってもらい、有意義な時間を共有することを目的とした。宴会の合間には、くじ引きで手に入れた豪華!?景品をさらに交換し合い、今回も大盛り上がりでした。